

=大阪発・光が文化になる季節=



開催期間

2013年12月1日（日）～2014年1月19日（日）

展開テーマ：大阪の夜を彩る光のミュージアム

光が大阪各所の個性を表現する「光のミュージアム」。
おもてなしの心を込めて創り上げる大阪ならではの光の文化が街中に広がります。

大阪・光の響宴2013 事業構成

コアプログラム

実行委員会主催事業



エリアプログラム

民間主催事業との合同プロモーション



まちあるきプログラム

大阪市中心部の店舗参加事業



2013年度の取り組み

プロモーション強化

回遊・滞留性強化

コンテンツ強化

大阪・光の饗宴2013 事業体制

「大阪・光の饗宴2013」体制表

大阪・光の饗宴実行委員会

(旧OSAKA光のルネサンス実行委員会)

(委員長)	大阪府知事	松井一郎
(副委員長)	大阪市長	橋下 徹
(委員)	関西経済連合会	森 詳介
	大阪商工会議所	佐藤茂雄
	関西経済同友会	鳥井信吾
(監事)	公認会計士	小柴学司

大阪・光の饗宴実行委員会事務局

■幹事会

総合プロデューサー	橋爪 紳也 (光のまちづくり推進委員会委員長)
幹事長	大阪市経済戦略局 理事
幹事長代行	大阪府都市魅力創造局 局長
幹事	関西経済連合会産業部 プロジェクト開発担当部長
	大阪商工会議所地域振興部 部長
	関西経済同友会企画調査部 部長
	大阪観光局 局長
	光のまちづくり推進委員会事務局
	大阪府都市魅力創造局 副理事
	大阪市経済戦略局 まち魅力部長

■推進事務局

総合ディレクター	岡 智恵子 (光のまちづくり推進委員会委員)
大阪府都市魅力創造局	都市魅力・観光 課長
	都市魅力・観光課 課長補佐
大阪市経済戦略局	まち魅力担当 課長
	都市魅力推進担当 課長
関西経済連合会	産業部 参与
大阪商工会議所	地域振興部 課長
光のまちづくり推進委員会事務局	
大阪観光局	マネージャー

アドバイザー会議

■合同安全会議 (予定)

各種規制緩和や各会場回遊のための安全検討を推進 (警察や管理者との協議)

■合同プロモーション会議

プロモーションの活性化

大阪市中心部の光プログラムによるエリア活性化等に取り組む団体とのプロモーションの推進



■事業開発会議

官民一体の都市経営

大阪市内中心部の各事業者が一体となった観光商品造成や、各エリアブランド向上など、大阪・光の饗宴の事業化をめざした会議。2015年を目途として、大阪光の饗宴における中期観光戦略及びブランド向上の構築に取り組む。特に観光インフラとなる企業を中心に定期的な会議を開催し、投資効果の高い事業構築を図る。

◆第1回：光のアートアワード審査会

大阪のブランド向上

大阪・光の饗宴において、光による都市の活力を生み出すことを目的としたプロジェクト。アジアにおける光のアーティストたちの登竜門を目指す。



Julien Pavillard氏 (ジュリアン・パビヤール)
(アートディレクター・ライティングコンサルタント)

フランス・リヨン「リュミエール祭」立ち上げ時のプロジェクトマネージャー。両親が「PIGI」(巨大映像投影機)を開発。10歳の頃から光や映像の世界に親しむ。フランスの「エクサンプロヴァンス国際歌劇芸術祭」のアートディレクター。現在も世界各国で光の演出やプロデュースで活躍している。



面出 薫氏：照明プランナー
(㈱ライティングプランナーズアソシエーツ代表取締役、武蔵野美術大学客員教授)

照明文化研究会「照明探偵団」の団長として精力的に活動を展開中。東京国際フォーラム、JR都駅、せんだいメディアテーク、六本木ヒルズ、シンガポール中心市街地照明マスタープラン、東京駅丸の内駅舎などの照明計画を担当。著書に『世界照明探偵団』鹿島出版会、『陰影のデザイン』六耀社など。



織作峰子氏：写真家 (大阪芸術大学芸術学部写真学科教授)

1981年度ミスユニバース日本代表に選ばれ、1982年大竹スタジオに入門。1987年独立。2000年ウォーターフォードウエッジウッドライフスタイルアワード受賞。海外政府観光局からの依頼を受け、世界各国の美しい風景や人物の瞬間を撮り続けている。



山本裕子氏：ギャラリーディレクター (㈱山本現代代表取締役)

2004年、東京神楽坂のワイルドな工場街に現代美術ギャラリー「山本現代」を開廊。2008年に港区・白金に移転。小谷元彦氏、ヤノベケンジ氏、西尾康之氏、など、多様なメディアや形式を擁するアーティストの紹介や展覧会開催。またジャンルを超えた活動もする若手作家の紹介も精力的。